ふくしのまち

社協だより

No.88 H15.12/15
ふれあいネットワーク
社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会

「鶴ヶ島の市民活動・ボランティア団体紹介」2

メンバーの集合写真

活動の様子です

車椅子社交ダンスを共に楽しく
「矢車草の会」

平成14年4月に矢車草の会として、車いすダンスの会が結成され会員数30名、月1回第三日曜日午後、南公民館で部長・副部長を中心に失敗を繰り返しながら和気あいあい練習しております。はじめは、車椅子の使い方も出来なかったのが、わかるようになり実際会員同士交替し踊りながら動かすことの難しさなどたくさん学ぶことがあります。時には、小学校に行って生徒さんたちと童心にかえり学び楽しんだことなどがありました。文責:井上

活動風景

楽しく元気に
ヤングボランティアサークル「コスモス」

私達コスモスは、学生を中心として軽度の知的障害を持った中高生のメンバーと一緒に毎月2回活動しています。活動は、基本的に第2週の日曜日と第4週の土曜日に行っており、日曜日は遊園地やカラオケ等の外出活動、土曜日は市内の上広谷児童館で元気一杯な子供達と一緒にバトミントンやドッジボール等をして遊んでいます。活動中にメンバーが見せてくれる笑顔は「最高」です。ボラ側も、「ボランティアをしている」と言うより「友達と遊んでいる」と言うほど楽しくて充実しています。このような活動が1日でも長く続けられたらいいなぁと思います。

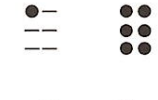
上広谷児童館前にて

ワンポイントレッスン

手話

雨

点字凸面


あ め

社会福祉協議会の ホームページにアクセスしてください。

社会福祉協議会の業務内容や講座・ボランティア募集等の情報を掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス
http://www.shakyo.or.jp/VCPages/011/241/

市民活動・ボランティア団体のホームページ
http://www.onyx.dti.ne.jp/~tsurusha/index.html

この「社協だより」は共同募金配分金で作成されています。

「みんなでささえあう あったかい地域づくり」

赤い羽根募金、地域歳末たすけあい募金にご協力ありがとうございます

地域歳末たすけあい運動のお知らせ

今年も地域歳末たすけあい募金を実施しています。この募金は、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、鶴ヶ島で暮らす人すべてが、豊かな生活を送れるよう、社会福祉協議会で実施する歳末援護事業等に役立てられています。

歳末慰問事業

民生委員・児童委員のご協力をいただき、市内の単身高齢者、身体障害者等に慰問品をお届けします。

また、就学援助制度を受けている世帯で申込のあった方は、社会福祉協議会の窓口で慰問品をお渡しいたします。

地域交流事業の助成

地域住民同士の親睦を深めていただくために、ふれあい・いきいきサロンで活動している団体等に対して活動費の助成をします。

10月1日から始まりました「赤い羽根共同募金運動」に続き、自治会を通して「地域歳末たすけあい募金運動」を展開中です。みなさまのあたたかいご協力をお願いいたします。

赤い羽根街頭募金協力奉仕団体

鶴ヶ島市東地区民生委員児童委員協議会
鶴ヶ島市西地区民生委員児童委員協議会
鶴ヶ島市赤十字奉仕団
ボーイスカウト鶴ヶ島第一団
ガールスカウト埼玉第57団
平成会
鶴ヶ島市社会福祉協議会理事
鶴ヶ島市立南中学校
鶴ヶ島市立第二小学校
鶴ヶ島市立杉下小学校
鶴ヶ島市立新町小学校

▲若葉駅での街頭募金活動の様子です

第3回鶴ヶ島市健康福祉まつり

「あたたかい心でつなごう　みんなの手」をスローガンに、第3回鶴ヶ島市健康福祉まつりが10月18日(土)、鶴ヶ島市役所を会場に開催されました。当日は約2,300人の参加者が集い、心ふれあう楽しい1日となりました。

鶴ヶ島市社会福祉協議会表彰式

健康福祉まつりのオープニングの中で、社会福祉協議会に多額の寄付をされ、地域福祉の増進にご貢献いただいた方々の表彰式を行ないました。(以下、敬称略・順不同)

鶴ヶ島市社会福祉協議会会長表彰

日南技術株式会社、鶴ヶ島市ゴルフ協会、星野トヨ、大井茂、埼玉県書店商業組合鶴ヶ島支部、西入間遊戯業防犯協力会

感謝状

株式会社どん、共和エンジニアリング株式会社、俳画四季の会、松の実歌謡会、やまびこ歌謡連合会、鶴ヶ島ダンスクラブ、ひばり歌謡連合チャリティー発表会、井沢梅子、鶴ヶ島美術協会、馬橋金三、坂戸ガス株式会社、トリプルゴルフ会、市民活動団体「和の会」、航空自衛隊入間基地隊員一同

「ともに生きる力」を育む 福祉教育

～学校とボランティアの取り組み～

近年、「ともに生きる力」が大人にも子どもにも求められています。このような時代の流れの中、その力を育むために“福祉教育”が大きな期待をされています。

現在鶴ヶ島市内では、ボランティアや地域の方々に協力を得て、継続的に福祉教育に取り組む学校が増えてきています。車いすや手話、点字といった体験活動などを行うだけでなく、しっかり体験の振り返りを行い、体験で気づき学んだことをふまえて**「自分たちには何ができるか?」**という視点を学びます。

写真で見る福祉教育実践

福祉教育・ボランティア学習推進員

埼玉県社会福祉協議会の研修を修了した、教師・ボランティア・施設職員・社協職員で現在鶴ヶ島市では15名の推進員が学校での福祉教育や地域住民への福祉教育啓発活動等を行っています。今回は、今年度研修を修了した推進員の方々からのコメントを掲載します。

【推進員さんからの声】

●「総合的な学習の時間」を活用して、高齢者と交流を終えた児童の顔はどの子もいきいきしています。それは質のよい体験が出来たときです。その為には、学校、施設、利用者、ボランティアの事前の打合せがとても大事なことです。一つ一つを丁寧にそして出会いを大切にしていきたと思います。（桜井恵子）

●総合的な学習において車椅子での生活状態を話しています。福祉教育を通して、子どもたちが他人に対し、優しい思いやりの心で、接することが出来るようになることを望んでいます。福祉教育は人間性の教育だと私は思います。（崎村武美）

●「総合的な学習の時間」に地域でのふれあいを通して、子ども達だけではなく、教師、ボランティア、社協職員が共に学び合い、それぞれ違った立場から「気づき」を共有出来る様になれば良いなと思います。（佐野知子）

あたたかい善意ありがとうございました

（順不同・敬称略）

お寄せいただいた善意は、社会福祉事業のために有効に活用させていただきます。

富士見ゴルフクラブ	11,000 円	鶴ヶ島市南公民館子ども陶芸教室参加者有志	140 円
鶴ヶ島市リサイクル都市づくり市民の会	52,905 円	鶴ヶ島市北公民館生活教養講座	1,000 円
埼玉県立鶴ヶ島高等学校ＰＴＡ総務委員会	10,000 円	俳画四季の会	62,590 円
ひばり歌謡連合会	50,000 円	民謡竜宝会・勝水会	22,953 円
埼玉県書店商業組合鶴ヶ島支部	100,000 円	鶴ヶ島産業まつり実行委員会	50,000 円
やまびこ歌謡連合会	52,114 円	田部　好	20,300 円
暖流会・若菜美会・鶴ヶ島マジッククラブ	48,715 円	株式会社ベルク	17,633 円
朗読ボランティアサークル　せせらぎ	3,200 円	鶴ヶ島市ゴルフ協会	250,000 円
指圧同好会	15,833 円	その他匿名により7件のご寄付をいただきました。	
中台団地自治会	14,497 円		

はじめてみませんか？ボランティア

ボランティア体験もできます

3日～5日間自分の都合に合わせて体験できるボランティアです。最初に施設の紹介や活動の説明をしてもらえるので、はじめての人でも安心です。

問合せ・申込　鶴ヶ島市ボランティアセンター

	体験できる施設	活動内容
おじいちゃん・おばあちゃんと関わりたい!	特別養護老人ホーム「清光苑」 老人保健施設 鶴ヶ島ケアホーム	利用者の話し相手 シーツ交換 ドライヤー
障害を持った方と関わりたい!	鶴ヶ島耳鼻咽喉科デイケアルーム	レクリエーションの参加 お話し相手、介護の助手
小さい子どもと関わりたい! 保育体験してみたい!	菜の花保育園 はちの巣保育園	保育の補助 子ども達の遊び相手
小学生と関わりたい・遊びたい!	どんぐりクラブ・ありんこクラブ・なかよしクラブ・ひまわりクラブ・つくしんぼクラブ・つばきやまクラブ・はちまんクラブ	

市民活動・ボランティア入門講座

これからボランティアをはじめる人・はじめたい人への入門講座。今回のテーマは子育てサポートボランティア。子育て中のお母さんでもできるボランティア。子育てお母さんをサポートするボランティア。そんな実践者たちのお話が聞けます。

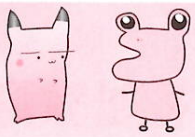
日程　1月31日（土）
13:30～15:30

場所　鶴ヶ島市社会福祉協議会
会議室

内容　ボランティア活動紹介・
ボランティア活動者体験談等

問合せ・申込
鶴ヶ島市ボランティアセンター

※ 保育あり（申込の際ご依頼ください。）



ボランティアセンター運営委員会始動

鶴ヶ島市ボランティアセンターでは、平成13年度からセンターの総合化（従来の福祉ボランティアだけでなく、国際・環境・自助グループやNPO法人など広く市民活動全般を支援対象にしました）を行なっています。

今後更に市民が市民活動・ボランティアに対する認識を広く持ち、活動しやすい地域を作るために、また、ボランティアセンターの果たすべき役割と指針を示すことのできるよう平成15年度よりボランティアセンター運営委員会を設置しました。

11月13日（木）に第1回目の委員会が開かれ、委員長の選出と今後の展開について話し合いが行なわれました。

「気づいて築くまちづくり」

鶴ヶ島市ボランティアセンター運営委員会委員長　原田裕子

38団体（延べ870人）、個人218人、これは平成15年11月25日現在、ボランティアセンターに登録し、活動している皆さんです。

17年前、こちらに転居してきた時には「ボランティア」という言葉が、これほどまでに社会認知されていなかったように思います。とはいえ、これは決して最近の事象ではなく、古くから「お互い様」「お蔭様」といった絆で人と人とが結ばれていたことに気づきます。少子・高齢社会といわれる今日こそ、それらを見つめなおす時ではないでしょうか。

わがまちは、公民館活動をはじめ社会教育の進んだまちとして、全国的に注目されています。生涯学習で培った人々の知恵を、大いに発揮してもらう時代を迎えたのです。言い換えれば、これまでの様々な取り組みを今後どのようにまちづくりに活かしていくか、まさにその真価が問われているようにも思われます。ボランティアセンターもしっかり、人と人とをつなぎ、知恵と知恵をつなぐ拠点として、新たなる展開を図るためにも、皆様のお力を是非とも拝借したいと思います。

情報マップつるがしまで まちづくり

～鶴ヶ島周辺地域の情報を、バリアーフリーの観点から市民が調査～

4月からはじまった「情報マップつるがしま」プロジェクト。様々な議論を重ねながら実行委員会を行っています。今回の調査票には、新たに様々な方々（子ども、さまざまなハンディキャップをお持ちの方、高齢者等）への対応についての質問をもうけました。ボランティアのスタッフが、飲食店や理・美容院、大型店等から情報をいただいています。調査対象のみなさまには、大変お手数をかけますが、趣旨をご理解の上、ご協力をお願い致します。

また、「情報マップつるがしま」へ掲載していただけるお店（事業所）も大募集しています。ご協力いただけるお店がありましたら、社会福祉協議会または情報マップつるがしま代表大和田務（tel&fax 286−2882）までご連絡ください。なお、掲載につきまして、広告料などは一切いただきません。

子どもたちも大活躍!!

〔学童保育連絡協議会〕 なかよしクラブ5名+指導員（8月4日）・つくしんぼクラブ7名+指導員（8月18日）・ありんこクラブ5名+指導員（8月20日、9月1日）ひまわりクラブ5名+指導員（8月18日）・どんぐりクラブ7名+指導員（8月22日）

夏休みを利用して、主に高学年が、お店や公民館などに調査に行きました。多くのクラブが、実際に視覚に障害をお持ちの方と一緒にアイマスク体験をしながら調査を行いました。お店の方々も丁寧に対応していただきました。また、初めは乱雑に置かれ歩行の邪魔だった自転車が見えない方でも通りやすくきちんと並べ直されたこともありました。

このような活動を通じて、子どもたちも「情報マップつるがしま」にかかわっていただいています。

子ども達は、ハンディがあるということを身体で感じ、人とのかかわりかたの難しさを感じた体験でした。子ども達にとって、つみ重ねることが大切と感じました。

（学童クラブ連絡協議会　実行委員　細貝ひな子）

〔新町小学校〕 6年生の石坂仁美さん、酒井美聡さん、鈴木磨千子さんの3人がこの1年間を通して、総合的な学習の時間を利用し、全面的に「情報マップつるがしま」プロジェクトに関わっています。11月も3日間、6店舗に、見えない方、きこえない方、ボランティアの方々と一緒に調査に行きました。今後まとめや発表を行う予定です。

いっしょにやってもらえる
団体・個人も募集しています

参加企画制作団体も増えました!

★鶴ヶ島市点字サークル「アイ」★鶴ヶ島朗読ボランティアサークル「せせらぎ」★拡大写本「る～べ」★花咲く乙女座★鶴ヶ島福祉作業所カウベル★鶴ヶ島パソコンサポートボランティア★豊かな老後を考える会★つるがしま子育てネットワーク★特定非営利活動法人サポートネットはぐくみ★くるまいすFriend輪く輪く★友遊★鶴ヶ島おやこ劇場★鶴ヶ島市聴力障害者会★鶴ヶ島視覚障害者の会★鶴ヶ島市立新町小学校６年生★鶴ヶ島市学童クラブ連絡協議会★つるがしま市民の森に親しむ会★子育ちネット「つみき」★鶴ヶ島☆こどもＮＰＯネット★こもれび★鶴ヶ島市福祉教育ボランティア学習推進員★鶴ヶ島市手話サークル「折鶴会」★「よつば」を育てる会★鶴ヶ島ライオンズクラブ★鶴ヶ島市保健センターソーシャルクラブメンバー会★個人ボランティア６名

（平成15年12月１日現在）

現在、**「情報マップつるがしま2004年版」**（販売価格400円）を予約販売価格300円で前売予約販売を行っています。

予約販売有効期間2004年2月29日まで。ご希望の方は、
①住所　②氏名　③電話番号（FAX番号・ｅメールアドレス）
④希望部数を明記の上、お申し込みください。

問い合わせ・前売り予約

大和田　（TEL＆FAX）049（286）2882
（eメールアドレス）oowada.t.m@tcat.ne.jp

手話講習会

社会福祉協議会では、市からの委託で手話講習会入門編（昼）、（夜）手話通訳者養成講習会を実施しています。今回、講習会の講師、アシスタントの皆さんからコメントをいただきましたので、紹介します。

入門編（昼）

最初は20回が長いと思いましたが、終わってみるとアッという間でした。受講生の方々が積極的で一生懸命やってくれましたので良かったです。2時間がいつも楽しく笑いながら学習できました。受講生の皆様、お疲れ様でした。

これからもサークルに入って、手話を続けて頂きたいと思います。

手話を教える坂井講師。この表現は、分かるかしら?

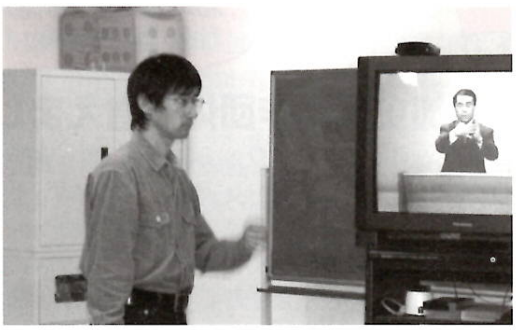
受講生も一生懸命です。

入門編（夜）

手話はろう者の言葉です。ろう者は聞こえないので声や音は耳に入りません。手話は目で見る言葉です。みなさん健聴者も手話を覚えれば、ろう者と会話がスムーズに出来ます。手話を覚える時は英語を覚えるのと同じように勉強してほしいと思います。20回という短い回数の学習でしたが、一歩一歩の積み重ねで、ろう者とコミュニケーションを取り、これからも手話と関わって行って欲しいと思います。

手話は目で見る言葉。竹内講師の手話を見つめます。

手話通訳者養成講習会



ビデオを使っての手話指導

手話通訳養成講習会受講生が、読み取り力、ろう者の心理の把握、聞き表現をできるように頑張りたいと思います。

受講生の皆さんにも頑張って頂きたいと思います。

手話通訳の立場を説明します

講師の手話を見る受講生

講習会名	入門編（昼）	入門編（夜）	手話通訳者養成（前期）
講師名	坂井富子	竹内順子	小出真一郎 吉川恵子
アシスタント名	平野章代 森本百合子	柳澤由美 晴桧由美	半澤里美
回数	23回	23回	34回
実施期間	7/3～11/27	7/1～12/2	6/1～2/25

手話通訳派遣だより

年末年始のお知らせ

平成15年12月27日(土)から平成16年1月4日(日)までの9日間、受付業務はお休みになります。この期間中に通訳依頼の予定がある方は、12月24日(水)までにお申し込み下さい。

年末年始についてお問い合わせ等ありましたら、担当までご連絡ください。

担当：佐々木
FAX (271)6277
電話 (271)6278

なお、12月29日(月)、30日(火)、31(水)、1月2日(金)、3日(土)の期間中で病気など緊急に通訳が必要になった場合は、障害者交流センターへお申し込み下さい。

受付時間 8:30～12:00
13:00～17:15
障害者交流センター 聴覚障害支援課
FAX 048(833)7532
電話 048(833)7510

聞こえない人へのエチケット

耳が聞えない人と接するときのエチケットは何があるでしょうか？ 手話は「目で見る言葉」と言うように、聞こえない人と話す時には、 顔を見て話しましょう。人によっては、相手の唇の動きを読み取って内容を把握する人もいますので、口の動きが分かるように、はっきり、ゆっくり話すなどがあります。

また、筆談をする時には、行書を避け、できるだけ相手に分かりやすい文字で簡潔に書く事があげられます。

それから、駅などの放送は分かりませんので、もし聞こえない人と気がついたら、放送内容をメモして渡すだけでも聞こえない人は安心します。

聞こえない人と接する時のマニュアルはありません。話したい気持ちがあれば、手話や筆談、口話等色々な方法が考えられます。まずは、相手の立場に立って、どんな方法が良いか考えてみましょう。

手話通訳派遣実施報告(H15.4～10)

区分	生活	医療	職業	教育	会議	講演会等	体験講座	大会・まつり	その他	合計
件数	57	75	3	7	30	19	5	7	19	222
人数	63	75	4	9	60	45	9	16	22	302

つるがしまふれあいサービス便り

～協力会員の声～ 共に生きる

現在伺っているお宅は80才の一人暮らしです。

話し上手なので、ついつい仕事もせず話に引き込まれてしまいます。若い頃の仕事内容、子供の頃の町の風景、家族、お孫さん、趣味、時々現在の自分を嘆いたり等、話の内容は実に豊富です。私はいつも話を聞きに行くのが楽しみで伺うようなものです。

今迄の医療は医師による独壇場でした。これからはチームワークの時代です。それぞれの立場の専門家の集合体が自分の意見を出し合い進めていく。患者もチームワークの一員です。

これからも利用会員の方と共に生きていこうと思います。

(K．M)

つるがしまふれあいサービスでは協力会員を募集しています。サービスの内容・登録方法等お知りになりたい方は、社会福祉協議会までご連絡ください。

おしらせコーナー

社会福祉協議会 ☎(286)5739

おめでとうございます

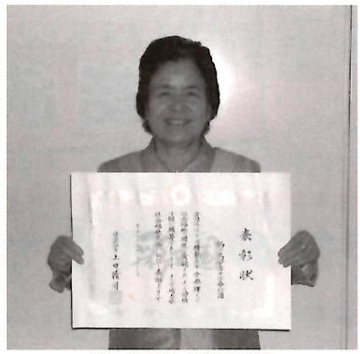
埼玉県社会福祉大会知事表彰・埼玉県共同募金会会長表彰

11月27日(木)、平成15年度埼玉県社会福祉大会が行われ、鶴ヶ島市赤十字奉仕団が、埼玉県社会福祉大会知事表彰を受けました。

長年にわたり、共同募金運動に積極的に取り組まれ、特に街頭募金に貢献したことが認められたものです。

また、伊東初江さん(高倉)が、埼玉県共同募金会会長表彰を受けました。

長年にわたり、福祉委員として社会福祉協議会の会費、あるいは共同募金の取りまとめなど地域の福祉ボランティアとして積極的に取り組まれたことが認められたものです。



鶴ヶ島市赤十字奉仕団

伊東　初江さん

表彰

鶴ヶ島市社会福祉協議会が、11月27日(木)に行われた平成15年度埼玉県社会福祉大会において、埼玉県社会福祉大会知事表彰を受彰しました。

ボランティアの育成や福祉教育の活動が認められたものです。

ボランティア募集

高齢者の交流の場であるデイホーム(であいの里)で、ボランティアをしてみませんか。

現在、地域の高齢者とおしゃべりをしたり、レクリエーションなどしたり、共に楽しんでくれる人を募集しています。

(特に月・木・金曜日にボランティアをしていただける方)

問合先　鶴ヶ島市社会福祉協議会 ☎(286)5739

「市民活動50代からの助走」

～NPO・コミュニティビジネスを考える～

これから定年を迎える団塊世代の方々や定年を迎え今後の人生設計を立てようとしている方々へ、社会貢献活動にも参加するきっかけを得ていただくための情報提供の場としてフォーラムを開催します。

主催　かがやき実行委員会

日時　平成16年1月25日(日)午後2時～5時

場所　鶴ヶ島市西公民館

内容　シンポジウム、参加者との交流団体のアピール、参加活動など

参加費　200円程度(飲物代)

問合先　早川(271)2833、藤岡090-8013-2326

心配ごと相談所

困りごとや悩みごとなど、お気軽にご相談ください。きっといい解決方法が見つかります。

相談日　毎週水曜日

時間　9時～12時

場所　市役所1階相談室

電話での相談も受付けています。

☎(271)1111(代)

福祉機器を……貸し出しします

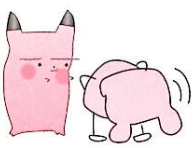
(介護ベッド・車いす)

社会福祉協議会の備品として登録している車いす及び介護ベッド(手動式)を、在宅の高齢者や障害者の方、けがや病気などで必要な方などに無料でお貸ししています。貸し出し期間は、6か月以内です。

利用を希望する方は、事前に電話等でご相談いただいたうえ、社会福祉協議会までお越しください。(車いすは、申請当日に持ち帰り可能ですが、ベッドについては、保管先の業者からの搬入となるため、申請から搬入までに数日かかります。)

編集室

社協に配属して早4年目になりますが、今年の春、病を患い手術をすることになり、暫くお休みをいただきました。年度替りの一番忙しい時に職場の仲間に迷惑をかけてしまい大変申し訳なく思っています。手術は胃の一部を摘出するもので、過去にそんな経験があるはずもなく、恐怖と不安でいっぱいでしたが、終わってみれば、最初の数日間の激痛は仕方ないにしても、終わったことの安堵感と、日に日に回復していくことへのなんとも言えない嬉しさは言葉に余りあります。確かに医療技術は進んでいますが、やはり周りの人たちの励ましと支えがあったからであり、感謝の気持ちでいっぱいです。6月には職場に復帰しましたが、7月の社協の会員加入促進や健康福祉まつりの取り組み、秋になれば共同募金と、気が付けば、あっという間に年度の半分以上が過ぎ去っていました。今では傷の痛みも感じなくなり、手術の辛さも忘れてしまいそうですが、今こうして仕事を続けられるのも健康であってのことと思っています。(い)



ふくしのまち　No.88平成15年12月15日発行
発行：社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会(社協)
Tsurugashima Council of Social Welfare
〒350-2213　鶴ヶ島市脚折1562-1
電話 286-5739　FAX 287-0557
tsurusha@onyx.dti.ne.jp
この社協だよりは再生紙を使用しています。